



富士通グループ・
中土佐 黒潮の森



いの町・
三井協働の森

人が森を助ける。
森が人を助ける。



木の力

環境先進企業との協働の森づくり事業
REPORT 2008



未来を鏡に
四銀絆の森



高知
トヨベットの森



ルネサスの森



土佐ツムラの森



環境先進企業との協働の森づくり事業



四万十
よんでんの森



たっすいがは、
いかん!の森



やなせ水源の森



土佐山
オンワード“虹の森”



“もったいない”
未来に夢をつなぐ森



住友大阪セメント
～須崎 未来を拓く森



土佐町
とらっくの森



コープ
自然派の森



日本興亜・
畑山の森林(もり)



KAWASAKI
仁淀川学びの森



三愛石油
オブリの森



損保ジャパン
いきいき共生の森



JTの森 奈半利
サンゴを守る森



いの町
太陽が育む森



三菱UFJ信託
『想い』をつなぐ森



つなぎの森
四国 いの町

高知県

森のカレポート2008

高知県 林業振興・環境部 環境共生課
780-8570 高知県高知市丸ノ内1-7-52
tel.088-821-4841 fax.088-821-4530
E-mail.030701@ken.pref.kochi.lg.jp

Illustration: Keiko Shibata

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030701/>

●この冊子は、FSC森林認証紙を使用しています。

助 森 助 人
け が け が
る 人 る 森
。 を 。 を

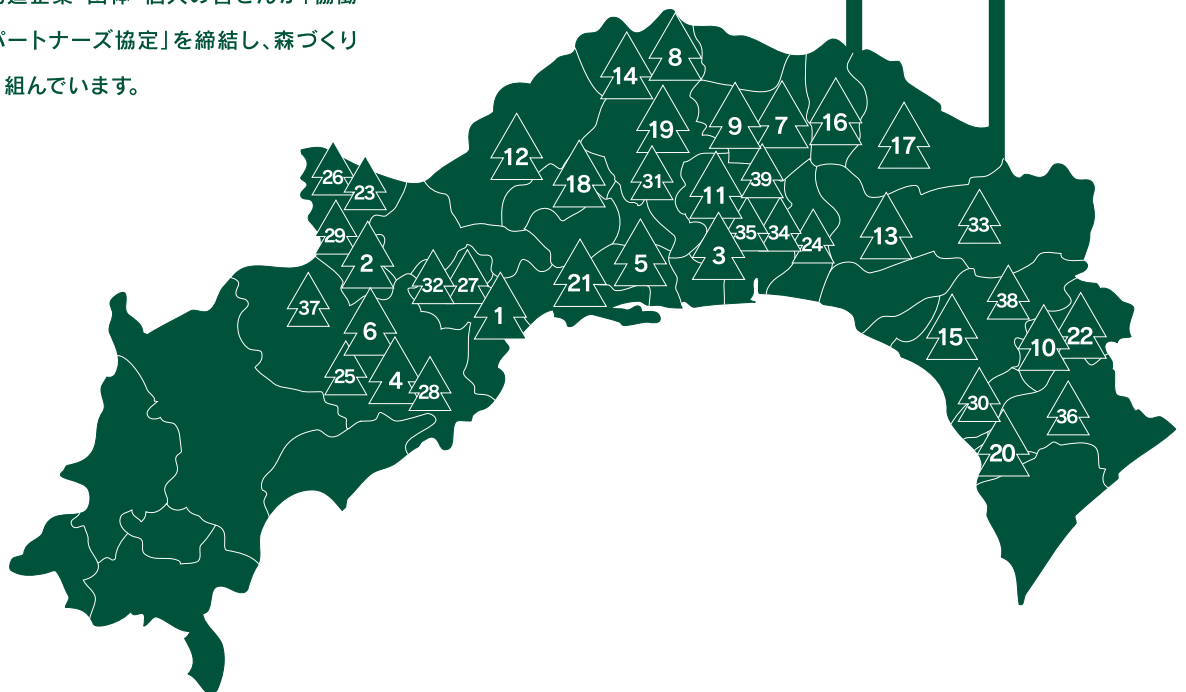


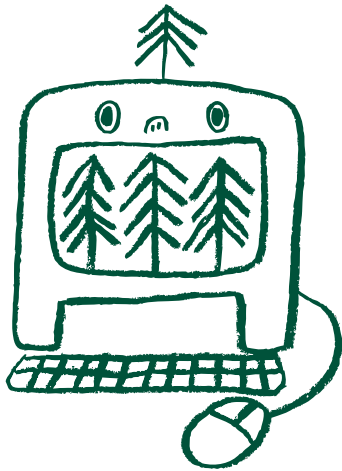
Collaborative Forest Restoration with Environmentally Progressive Companies.

森の大きな力を再生するための取り組み「協働の森づくり事業」をスタートして早3年が経ちました。いま、高知県内では39の環境先進企業・団体・個人の皆さんが「協働の森パートナーズ協定」を締結し、森づくりに取り組んでいます。



のいろんな森、
活動中！





1

富士通グループ・中土佐 黒潮の森

中土佐町

富士通グループ

①約28ha ②平成19年10月22日 ③3年間

楽しくて役に立つ科学の出前いたします！
エコ合言葉「3R」でパソコンの資源再利用率は70%以上！

富士通グループは、協定林を社員の環境教育の場として、また地域の皆様との交流の場として活用しています。

新緑のころ、中土佐町の久礼中学校で、「パソコンを分解して学ぶ私たちの3R」と題した出前授業を行いました。

“3Rおじさん”が、マジックやジャグリングを披露しながら、「3つのRとは、Reduce(廃棄物を出さない)、Reuse(再使用する)、Recycle(再資源化する)のこと」と説明。それから生徒が実際にパソコンを分解して、部品が3Rのどれに分類されるのかを考えました。「牛乳のビンはリユース。バックはリサイクルだね」。生徒たちは、さっそく身近なところで3Rを実践してくれそうです。



もちろん初めて！
パソコンの中を
あれこれ調査中。

リユースできる
部品はどれだ？
まさに宝探し！



2

“もったいない” 未来に夢をつなぐ森

梶原町

矢崎総業(株)

①約11,350ha ②平成18年10月24日 ③5年間

森がキャンパス。未来を描く。
山より出でて山へと還る。「循環こそが山とともに生きること。」

風力発電や太陽光発電をいち早く取り入れた梶原町。矢崎総業は、この地で「木質バイオマス地域循環利用プロジェクト」を進めています。森林の育成に始まり、間伐材や端材から木質ペレットを生産し、焼却灰を無機質肥料として土に還す、循環型地域モデルです。

夏休みは社員と子どもたちが、同町で三泊四日のサマーキャンプを開きました。「未来に夢をつなぐ森」では間伐を体験し、樹に触れることで森の大切さを学びました。梶原には愛媛との県境に志士脱藩の道九十九曲峠があり、坂本龍馬についての勉強会も開きました。

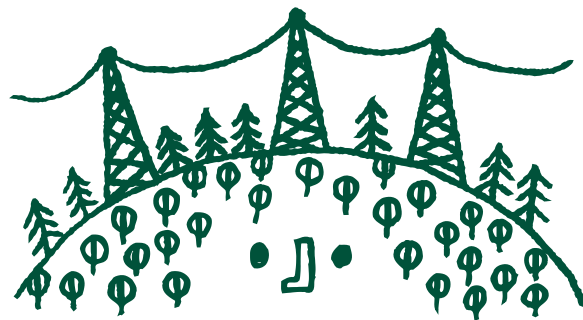
4日間を通して、社員もそれぞれが「社会に必要とされる企業」という社是をさらに熱く確かなものにできたことでしょう。



まずは
細い木から挑戦！



ゆずはらペレット工場も見学！
これらが新たなエネルギーになるんです。



3

未来を鏡に 四銀絆の森

高知市

(株)四国銀行

①約57ha ②平成19年3月15日 ③10年間

窓口からでも応援できます!!
市民の憩いがもうひとつの利子です。

「鏡の如し」と土佐の殿様が詠った鏡川は、源流から河口まで高知市に属しています。水質も良好で市民に親しまれている高知市のシンボルです。その鏡川の上流に「四銀絆の森」があります。

若葉のころ、小学生たちと記念植樹を行いました。参加した小学生は、「自分の木があるみたいでうれしい」「木の命を自分で作ったみたい」と、自然との絆を感じるひとときを過ごしました。

四国銀行は、「絆の森」エコローンを実施し、環境に配慮した事業を行っている企業、これから取り組もうとする企業を応援しています。また、お客さまが預金を通じて参加できる環境応援定期預金「四銀絆の森」は、日経優秀製品・サービス賞優秀賞を受賞しました。



力を合わせて
記念植樹!



“守ろう森林”
みんなの願いです。

4

四万十 よんでんの森

四万十町

四国電力(株)

①約102ha ②平成18年9月8日 ③5年間

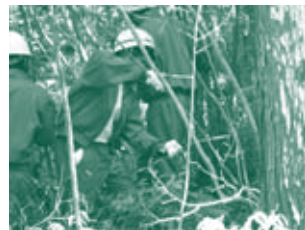
水は無限に循環する純国産エネルギー!。
四万十町の名物も、森に濾過された水が育んでいます。

四国電力は四国の急峻な地形を活かし、58カ所の水力発電所を稼働させていますが、その半数以上が高知県にあります。

水の循環に重要な役割を果たしている森林を、地域のみなさんといっしょに守っていききたい。今年度も5月に窪川高校1年生の生徒さんといっしょに汗を流しました。

電力グループの社員だけあつてか(?)、作業着の着こなしもバッチリまっています。斜面で行う間伐作業は保全作業とは勝手がちがいますが、高校生たちと一緒に悪戦苦闘は楽しいものでした。

もうひとつの班は、クヌギの原木にシイタケの菌を植え付けました。四万十のシイタケは、香りがすばらしいのだそう。これも森からの贈り物です。



急峻な山も
なんのその!

おいしいシイタケが
できますように!





5

高知 トヨペットの森

高知トヨペット(株)

①約24ha ②平成19年5月7日 ③3年間

ぼくたちの林です。わたしたちの自慢です。
おじさんたちは筋肉痛でたいへんだったけど。

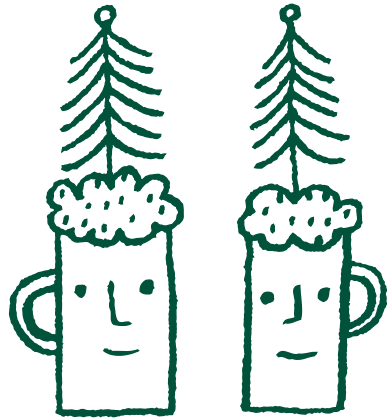
高知トヨペットの協賛する協働の森は、学校林を対象にしています。土佐市の高岡中学校など4小中学校は、共同で学校林を所有しています。近年は人手不足のために十分な手入れが難しくなっていました。

高知トヨペットは、毎年学校林整備のお手伝いと、子どもたちの環境学習を中心とした交流会を開いています。今年度は高岡第二小学校5・6年生のみなさんと、森林環境学習と間伐作業を行いました。

間伐作業では「巻き枯らし」という方法を使いました。これは切り倒すのではなく、樹皮を剥いたり切れ込みを入れたりして立ち枯れさせる安全な間伐方法です。ヘルメットをかぶったときには不安そうだった子どもも、いつのまにか笑顔で作業。やはり実際にやってみることが大切ですね。



「巻き枯らし」ってどうやるの？
「なるほど、私たちにもできそうだね！」



6

たっすいがは、 いかん!の森

キリンビール(株)

①約35ha ②平成18年5月24日 ③3年間

実は、龍馬とグラバーの出会いからキリンは生まれたんです。
高知の水と自然とくらしのキャンペーン展開中!

「たっすい」は「頼りない」「弱々しい」という意味の高知の方言。「たっすいがは、いかん!」は、酒の味見をしたときにもしばしば使われるフレーズで、土佐人の好みと気質をよく言い表しています。

キリンビールは、「高知の自然も元気でなくては!」と、いっしょに森林を守る活動をしていただける「たっすいがはいかん!の森友の会」の会員を募集しています。応募してくださった方には、間伐材で作った会員証をお送りしています。

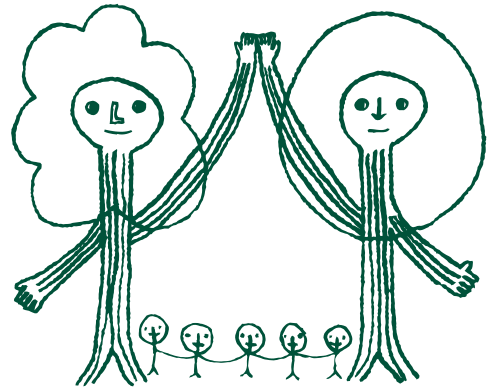
今年も一般の方も対象に、「山の手入れ体験バスツアー」を実施しました。親子での参加も多く、子どもたちもはりきって間伐作業を行いました。森の樹々たちも「わんぱくくん」「おてんばさん」を歓迎してくれました。



子どもたちも
勇敢に立ち向かう!



間伐材で木工作り
木で遊ぶって
楽しいね!



7 コープ 自然派の森

コープ自然派事業連合

①約20ha ②平成19年2月14日 ③3年間

土佐町
土佐町下地蔵寺地区

季節ごとにいろいろな楽しみ方考えます！
楽しくって環境にいい、森づくり。

コープ自然派事業連合は、土佐町の安心安全な産直米「源流米」を応援しようと、吉野川上流域の森づくりを行っています。

「源流米稲刈りツアー」の一環として行われた間伐体験。前日の稲刈りの疲れも見せず、朝9時に出発！山道をガタゴト揺られること15分…三辻山の上にある「コープ自然派」の森に到着。地元の皆さんの歓迎ムードに一同やる気満々！大人から子どもまで、楽しくかつ真剣な間伐体験となりました。

終了後のお昼ご飯は、毎年恒例の地元特製・竹容器入りのお弁当と山菜！また、一緒にいただいた栗の渋皮煮がこれまた大好評！「商品化できないか…」といった真面目な議論も起こっていたほど(笑)。さらにお土産には間伐材のまな板もいただいて、もう言うことなし。早くも次回が楽しみでなりません。



「これでまた少し森が明るくなったね」



すがすがしい気持ちでハイポーズ！



8 いの町・ 三井協働の森

三井物産(株)

①約50ha ②平成18年5月23日 ③3年間

いの町

交流会では志士のごとく白熱の議論！
支援の起爆剤となった地に有志結集！

協働の森づくりパートナーズ協定締結第1号となったのが三井物産。2005年に三井物産環境基金を設立し、さまざまな活動の支援をすすめています。協定締結以後、31件の支援事業が誕生しました。

多種多様な事業を展開する企業らしく、関連会社や取引先など多方面から有志が結集！チェーンソーの使い方や立木を伐り倒す理論を学ぶなど、本格的な伐採実習となりました。

研修に協力した土佐の森・救援隊のスタッフも「安易にアレンジされたイベントではありません」と、真剣な指導ぶり。さらに交流会では、参加者一同、多士済々の環境維新の志士となり、熱く白熱した議論が交わされたのでした。

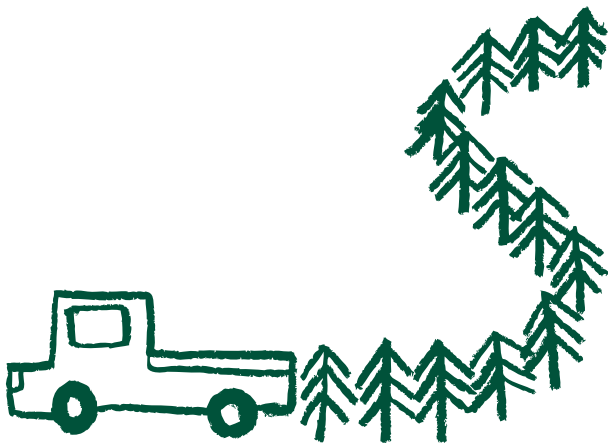


真剣なまなざし。ただいま実習中！



こーんな高い木にも果敢に挑戦！





9

土佐町 とらっくの森

社団法人高知県トラック協会
①約70ha ②平成20年10月14日 ③3年間

土佐町

森の草花からもパワーいただける！
環境保全の重要な役割を担っているからこそ、がんばります！

10月9日はトラックの日。トラック協会は毎年この日の前後に「トラックの日の森づくり」を実施しています。土佐町とらっくの森では、「山のお手入れ体験学習」を行いました。

ほとんどの人が初体験で間伐には悪戦苦闘。苦勞してようやく伐採した切り株に「どうだ！」と片足をのせて、記念撮影する人も。

地元のみなさんが用意してくれた新米の田舎寿司や土佐赤牛のバーベキューで元気回復した後は、短く切った間伐材にセッコクを植え付けて思い出の品作りです。セッコクはランの原種で、老樹や岩の上に自生するととも強い植物。小さくても力強い花をやがて咲かせてくれるでしょう。



初めての体験に
皆緊張の面持ち…



僕が伐った切り株です！
大成功！で記念撮影。

10

損保ジャパン いきいき共生の森

(株)損害保険ジャパン
①約43ha ②平成19年1月24日 ③3年間

馬路村

社長も一緒に間伐体験！のこぎりの腕もおい事です。
1000人の村が大にぎわい！

秋まっさかりの10月終わり、言わずと知れたゆずの産地「馬路村」に損保ジャパン高知支店の社員、代理店、家族の皆さんなど総勢100名が大集合しました。人口約1,000人の村が、この日ばかりは推定人口10%増(?)の大にぎわい！

今回は協働の森事業では初めて企業トップの佐藤代表取締役社長が参加し、間伐体験では社員さんと一緒に、のこぎりでの間伐にチャレンジ！日頃のお仕事同様、見事に間伐を成功させたのでした。

また、間伐体験の他にも、ネイチャーゲームや、ごっくん工場見学、曲げわっぱ作りなど、それぞれ希望のコースで馬路村の魅力を満喫！その後は、河原でバーベキューを楽しむなど、森の中で英気を養い、「森と共生すること」のすばらしさを参加者一同再確認できたのでした。



山深い森へ
いざ出陣！



社長もやります！
一緒にいい汗、流しました。



11

土佐山 オンワード“虹の森”

(株) オンワードホールディングス
①約45ha ②平成20年11月14日 ③3年間

高知市

あの重量感と爽快感がやみつきに！
虹の架け橋をつくるべく、社員一同やる気です！

県中央部に位置する土佐山地区の森が、世界で事業活動を行っているオンワードグループの各拠点に向けた“虹の架け橋”となることを願い、「土佐山 オンワード “虹の森”」は今年度始動しました。

そして今回社員研修の一環として、間伐作業が行われました。ほとんどの人が初めての間伐体験という中、各自ヘルメット、ノコギリ、軍手を着用し、いざ林内へ！慣れない作業に戸惑いながらも、各グループ3本ずつの体験間伐に汗を流しました。

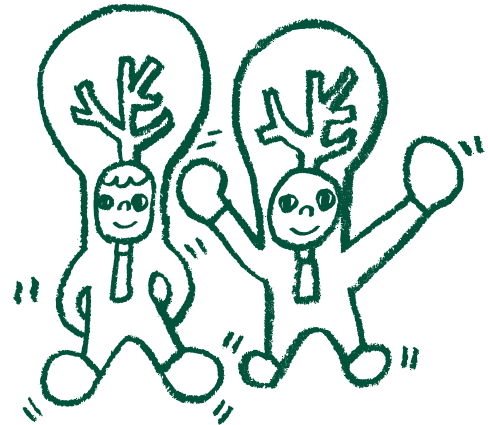
初めて伐採した木々の重量感に感激し、作業を終えた時の爽快感で、疲れもふっとんだようです。

お楽しみの昼食は、地元婦人会手作りの山の幸たっぷりの手料理に舌鼓。身も心も大満足の日なのでした。



木が倒れていく迫りに一同大歓声！

こんなゆっくりした時間も一つの醍醐味です。



12

KAWASAKI 仁淀川学びの森

川崎重工業(株)
カワサキプラントシステムズ(株)
①約70ha ②平成19年5月18日 ③3年間

仁淀川町

大
自
然
の
懐
で
若
者
は
大
き
く
育
つ
！
議
論
と
試
行
錯
誤
を
重
ね
、
成
し
遂
げ
ま
し
た
、
ド
ラ
ム
缶
風
呂
！

カワサキプラントシステムズの新入社員研修が天狗高原などで行われました。地元の方々への挨拶から始まり、登山訓練、木工創作、「学びの森」での間伐実習、環境保全講座の受講とディスカッションなどなど、頭脳も身体もフル回転の3日間です。

登山訓練では、有史以前の巨大な地球の亀裂、大引割を見学しました。深さ30メートルといわれる亀裂をのぞきこんで思わず、「自然の懐は深いなあ」。

同社は仁淀川町で、残材や間伐材などを使用したエネルギー自給システムの実験を行っています。環境保全と両立するエネルギー供給システムの構築という壮大なプロジェクトへ、若者の夢は羽ばたきます。



女性社員だって負けてません！

のこぎりを持つ姿が早くもサマになってます！





13

ルネサスの森

香美市
香美郡殖林組合

(株)ルネサステクノロジ高知事業所
①約36ha ②平成19年3月26日 ③5年間

雨でも楽しみながら学ぼう、森のこと。
森づくりへの決意、新たに！

ルネサステクノロジは、昨年に引き続き2回目となる森と親しむイベント「ルネサスフォレストランド2008」を開催しました。

しかし、当日はあいにくの雨天のため、楽しみにしていた間伐体験は中止となってしまいましたが、体育館では、高知中部森林管理所から森林の役割などを分かりやすく説明いただいたり、植物の葉っぱから名前をあてたり、木工クラフトやビンゴ大会など、大人も子どもも楽しめるメニューが満載！お楽しみのお昼ご飯は、地元の食材を使ったイノシシ鍋！これがもう“絶品”で、外の雨も忘れあつという間に笑顔の花が満開になりました。地元の皆さんのおもてなしの心に感謝し、「次回こそは！」と森づくりへの決意をさらに強くしたのです。



葉っぱだけで何の植物かわかるかな？

初めての木工クラフトにドキドキ、ワクワク...



14

つなぎの森 四国 いの町

いの町

西日本高速道路(株)四国支社
西日本高速道路サービス・ホールディングス(株)
①約46ha ②平成20年8月4日 ③3年間

この道に終わりはないけど未来へつながる。雨の紅葉もまたよきかな。温泉がなによりのごちそうに！

西日本高速道路の協定林「つなぎの森四国いの町」は、四国の水瓶と呼ばれる早明浦ダム上流に位置します。四国四県から集まった約40名が、あいにくの雨模様のなか間伐作業を行いました。

高速自動車道の管理運営にかかわっているだけあって、雨にも負けず、チェーンソーの扱ひも慎重に、安全第一主義で無事作業を終えました。

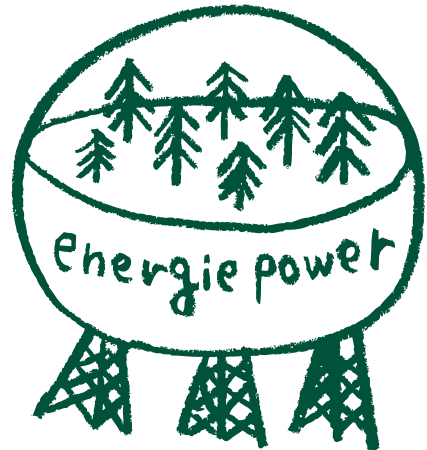
最後は、筋肉痛にも効果ありという木の香温泉へ。ゆったりと遠くの紅葉をながめながら露天風呂にひたり、このせせらぎの音もあの山につながっているんだなあとしみじみ。健全な環境を未来につないでいこうとの想いを新たにしたのでした。



雨でもやります。気合いです。

慎重に丁寧に、安全第一！





15 日本興亜・ 畑山の森林(もり)

安芸市
はたやま夢楽実行委員会

日本興亜おもいやり倶楽部
(日本興亜損害保険株式会社)
①約142ha ②平成19年8月6日 ③3年間

未来へ地球へ。「想い」を「遣る」倶楽部です。
マッチングギフト。社員と企業が一体となった社会貢献のツールです。

「日本興亜おもいやり倶楽部」は、日本興亜損保の役職員有志を会員に、平成8年に発足しました。会員が積み立てた基金から団体等に寄付をするとき、会社も同額を併せるマッチングギフト制を採用しています。また会員を中心に、下刈・間伐などの森林づくり活動も行っています。

2度目の森づくり活動はあいにくの雨となりましたが、地元の方々に森林のお話や地域おこしのお話を聞くことができました。また、古本図書館の見学や、昔から伝わるこんにやくづくりを体験しました。

畑山の人々と交流し、歴史や夢をうかがって、過去から未来へ、そして地球へと、想いを広げるよい機会となりました。



こんにやくの感触に
思わず、
気持ちいい～!



こんなにたくさん!
ゆずも大収穫!



16 三愛石油 オブリの森

本山町

三愛石油(株)
①約35ha ②平成20年5月29日 ③3年間

感謝の心を新たに、結びつけたいたいサポートしたい。
苔玉に切り株コースター。山の力と香りがおみやげに!

ラテン語Obbligare(結びつける)から派生したObligadoは、「感謝」という意味。音楽用語では「主旋律を引き立たせる副旋律」のことをいいます。

「ありがとう」をエネルギーに、社会や自然とのよい関係を結んでいこうという希望と誓いをこめて命名された本山町三愛石油オブリの森で、間伐の体験作業を行いました。参加した社員たちは、一本切り倒すごとに、森がどんどん明るく元気になっていくのを感じていました。

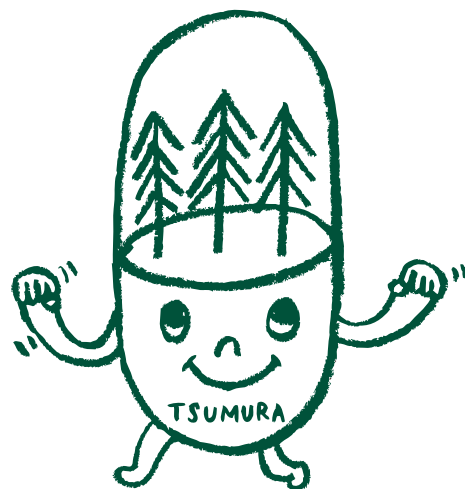
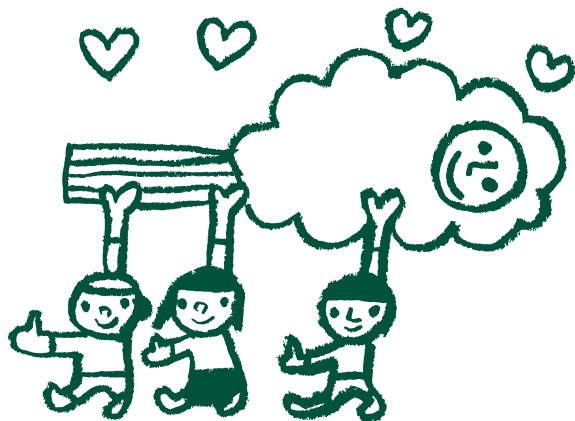
作業の後は、思い思いの山野草をあしらった苔玉づくりを体験。土の団子を覆った苔が水分を保ち、草花を育てていきます。苔玉にも山の力がコンパクトに凝縮されているのです。



みんなで間伐!
心配そうに見守る姿も。



地元のおばちゃん、
コケ玉づくりを伝授!



17

三菱UFJ信託 『想い』をつなぐ森

三菱UFJ信託銀行(株)

①約37ha ②平成19年6月14日 ③3年間

大豊町

餅つきでははりきりすぎて杵が折れるハプニングも。
日本一の大杉のようにどっしりと、着実に！

三菱UFJ信託銀行は、みなさんの環境保護への想いを次世代につないでいこうと、協働の森を『想い』をつなぐ森」と命名しました。

11月には大豊町の皆さんとついに間伐作業を行いました。昨年度の参加者たちの口コミで、四国の支店だけではなく、京都支店からも参加があり、総勢50名。最初の本を切り倒した瞬間には、大きな歓声があがりました。

作業後はお楽しみ会の地元の方たちとの交流会。地元婦人会の皆さん手作りの山菜づくしのごちそうに、参加者の顔もほころびます。いろいろな人の営みが、大杉の枝のように、空に大きく広がっていくことを想像しました。



もちつきの後は、みんな仲良くお餅を丸めます！



デザートは、地元特産の暮石茶ゼリーで締め！

18

土佐ツムラの森

(株)ツムラ

①約56ha ②平成20年6月9日 ③3年間

越知町

君たちもすくすく育て
越知町は世界に誇れる植物の宝庫！未永いおつきあいを。
中学で出前授業！

漢方薬品メーカーツムラは、越知町の森を守り、仁淀川の水質を保ち、地域のみなさんとの信頼を深めるため、パートナーシップ協定を締結しました。

越知中学校では、「越知町とツムラのつながり」と題した講演を行い、越知町の自然が良質の生薬を育てていることや、人が持っている自然治癒力を高めるという漢方の基本的な考え方を知っていただきました。そして中学生とついに間伐体験と、モミジ、ケヤキ、ヤマザクラなどの植樹を行いました。「自然と人間の健康がつながっていることがあらためてわかった」と中学生。みなさんも樹々のように、すくすくと育ててください。



中学生との共同作業も
いい思い出！

植樹も意外と大仕事。
花が咲いたら
見に来るね！





19

いの町 太陽が育む森

太陽石油(株)

①約39ha ②平成18年11月9日 ③3年間

いの町
森が明るくなったよ。木漏れ日ってきれいだね。
子どもたちの目もキラキラの一日。

第3回の森林ボランティア活動の参加者は65名と過去最多。森づくりの輪は毎年広がっています。

社員の家族のみなさんも大活躍。ちびっ子たちもキリッとヘルメット姿でなかなかたのしい。ベビーキャリアで赤ちゃんを背負いながら木を伐るお母さんもいて、なんともたくましい。みんなで明るく、森に太陽の光を取り込んだのでした。

楽しい昼食の後は、木工の体験学習です。手作りの木のスプーンでなに食べようか？話はずめば心はずむ。折しも森は、黄金色のいちょうに真紅のもみじと紅葉まっさかり。美しい森を子どもたちに渡さなくちゃと、大人たちも想いを心に刻みました。



パワフルお母さん！
「ママ、がんばってね…zzz」

山のごちそう勢ぞろい！
「どれにしようかな？」
しあわせな悩み事。



20

JTの森 奈半利 サンゴを守る森

日本たばこ産業(株)

①約160ha ②平成18年11月1日 ③5年間

お腹いっぱい胸いっぱい自然に感謝！
森も海もぐちそうもつながっている。

11月22日、四国四県の支店の社員と家族が、自然豊かな奈半利町に集合しました。今回が3回目の森林保全活動で経験者も多く、手際のよさは指導員の方々も感心するほど。5歳の子も指導員の方が上手にフォローしてくださって、見事に一本切ることができました。

この森林は、奈半利川流域にあります。奈半利川の水はサンゴが群生する奈半利ふるさと海岸に注いでいます。森を守ることはサンゴを守ることでもあるのです。

また、地元のみなさんが用意してくれた昼食には一同大感激。なかでも目の前で薫で焼いてくれたカツオのタタキは絶品でした。舌でも森と海をつながりを実感したのでした。



急な斜面は、
バランス勝負！

薫焼きタタキは、
この迫力！
美味いはずです。





21

住友大阪セメント ～須崎 未来を拓く森

住友大阪セメント(株)

①約33,542ha ②平成19年4月20日 ③5年間

須崎市

子どもたちの想いをつないでいっしょ。
まかせておいて！間伐材も無駄にはしません。

住友大阪セメント高知工場は、高知県のほぼ中央にある天然の良港「須崎港」に面しています。今回の体験の舞台は、須崎市の小学校が授業で植林した森。この森林がふるさとの海や川を守る一樹々を植えた子どもたちの汗と願いに思いをはせながらの作業となりました。

参加者には若い人が多く、なかには森林組合の方？と思われるほど本格的にナタやノコギリを使いこなす社員も。地元のみなさん、県や市の職員のみなさんといっしょに、和気あいあいと作業に励みました。

当日間伐した木材は、高知工場の自家発電設備でバイオマス燃料として有効活用しました。これからも森づくり活動を多方面から地球温暖化対策へとつなげていきます。



今年も
無事終わりました！
記念にパシャ。

伐採した木々も
テキパキと運びます。
スムーズかつ
スピーディー！



22

やなせ水源の森

電源開発(株)

①約1,400ha ②平成18年7月25日 ③5年間

馬路村

奈半利川水系の村が水源の森に集合。
自主独立の気概あふれる村の衆は、楽しくて頼もしい。

電源開発は、奈半利川上流の魚梁瀬ダムを管理運営し、発電事業を行っています。奈半利川水系は、今では四国地方でも屈指の電源地帯となりました。

「緑のダム」といわれる森林の手入れとして、昨年度の間伐作業に続いて、今年度は植樹作業を行いました。馬路村だけでなく、奈半利川流域の北川村や奈半利町からも協力をいただき、クヌギをはじめとした100本の苗木が植えられました。作業後の懇親会は、ごちそうとお酒で大いに盛り上がりしました。

馬路村は市町村合併を選択しなかった数少ない自治体で、みなさんいごっそうに酒豪ぞろい。緑の森と頼もしい村民の皆さんとともに、エネルギーと環境の共生を目指します。




「大きなあれ！」
社員の思いが込もってます。


100本植樹完了！
充実感に一同にっこり。



まだまだ増え続けてます！森のカパートナーズ企業・団体

森のカパートナーズ企業・団体は、環境意識の高まりとともに年々増加し、現在“39”にも及びます。皆さんそれぞれの発想を活かした森づくりに取り組んでいます。


 **私の青空 高知龍馬空港 栲原の森**
全日本空輸(株)
栲原町 ①約37ha ②平成18年10月19日 ③3年間


 **トヨタ車体グループの森**
トヨタ車体(株)
南国市 ①約68ha ②平成19年2月9日 ③3年間

 **コクヨー四万十結の森**
コクヨ(株)
四万十町 ①約8,755ha ②平成19年7月23日 ③9年間

 **モア・トゥリーズの森**
有限責任中間法人more trees
栲原町 ①約58ha ②平成19年11月30日 ③3年間

 **FORESTYO**
一青竊
中土佐町 ①約10ha ②平成19年12月3日 ③3年間

 **四万十ハートの森**
(株)ハート
四万十町 ①約73ha ②平成20年1月24日 ③3年間

 **日本道路の森**
日本道路(株)
栲原町 ①約30ha ②平成20年2月13日 ③3年間

 **清流安田川を育む森**
電源開発(株)
安田町 ①約407ha ②平成20年6月24日 ③5年間

 **土佐料理 司 鮎を育む森**
(株)加寿翁コーポレーション
いの町 ①約44ha ②平成20年8月5日 ③3年間

 **モア・トゥリーズの森**
有限責任中間法人more trees
中土佐町 ①約70ha ②平成20年8月18日 ③3年間

 **高知工科大学一物部川共生の森**
高知工科大学／高知工科大学後援会
香美市 ①25ha ②平成20年9月8日 ③3年間

 **NTT 光の森**
NTT西日本グループ
高知市 ①約37ha ②平成20年11月11日 ③3年間

 **原宿表参道櫛会 元氣の森**
商店街振興組合 原宿表参道櫛会
高知市 ①約27ha ②平成20年11月29日 ③3年間

 **奈半利川あゆを守る森**
奈半利川淡水漁業協同組合
北川村 ①約78ha ②平成20年12月19日 ③5年間

 **RIVER しまんとの森**
四万十ドラマ
四万十町 ①約7ha ②平成21年1月27日 ③3年間

 **三菱商事 千年の森**
三菱商事株式会社
安芸市 ①約212ha ②平成21年2月3日 ③4年間

 **旭食品 RISSIの森**
旭食品(株)
高知市 ①約31ha ②平成21年2月10日 ③3年間